

パターンⅡ【仕訳・工場元帳の問題】

B工場では、製品原価の計算に実際個別原価計算を採用している。次の【資料】にもとづいて、下記の問いに答えなさい。

【資料】

1. 当月の直接材料購入量・在庫量

月初在庫量 200kg (実際購入単価 1,500 円/kg)

当月購入量 1,800kg (実際購入単価 1,650 円/kg)

月末在庫量 350kg (棚卸減耗等はなかった)

2. 当月の原価計算表

製造指図書番号	# 2 0 1	# 2 0 1 - 1	# 2 0 2	合 計
直接材料費	1,110,000 円	250,000 円	1,250,000 円	2,610,000 円
直接労務費	560,000 円	130,000 円	740,000 円	1,430,000 円
製造間接費	930,000 円	280,000 円	1,010,000 円	2,220,000 円

(注) 直接材料費は予定消費単価、製造間接費は予定配賦率を用いて計算している。

3. 製造間接費月間予算 (固定予算) 2,250,000 円

4. 当月の生産状況

- (1) 製造指図書 # 2 0 1 及び # 2 0 2 は当月製造に着手し、当月末までに # 2 0 1 は完成し、# 2 0 2 は未完成であった。
- (2) 製造指図書 # 2 0 1 - 1 は、一部仕損となった # 2 0 1 を合格品とするために発行した補修指図書であり、仕損は正常なものであった。なお、補修は当月中に開始し、当月中に完了している。

問 1 下記の(1)~(3)について仕訳を示しなさい。

- (1) 当月分の直接材料実際購入高を計上する。なお、材料はすべて掛けにて購入した。

(仕 訳)

--	--	--	--

(2) 当月分の直接材料費を計上する。

(仕 訳)

--	--	--	--

(3) 直接材料の消費価格差異を計上する。実際消費単価は先入先出法に基づいて計算する。

(仕 訳)

--	--	--	--

問2 当月の完成品原価を計算しなさい。

完 成 品 原 価 = 円

問3 答案用紙の製造間接費勘定を完成させなさい。

製 造 間 接 費		(単位：円)	
実 際 発 生 額	2,300,000	予 定 配 賦 額	()
		予 算 差 異	()
		操 業 度 差 異	()

参考メモ【工場元帳（ボックス（一部））】

直接材料費

月初有高		当月消費	
当月仕入		月末有高	
消費価格差異		消費価格差異	

※消費価格差異は、どちらか一方に数字が入ります。

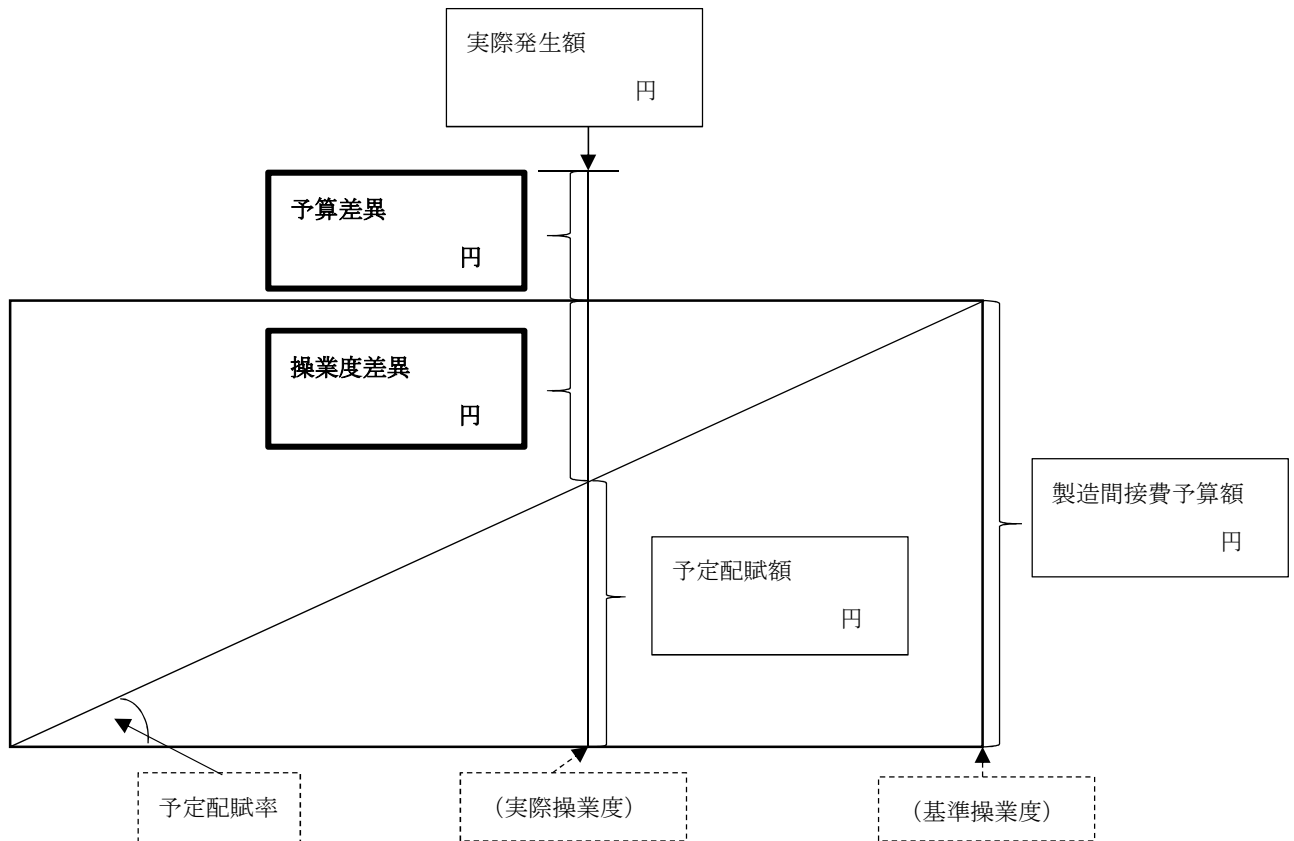
仕掛品

月初有高		当月完成	
当月投入			
		月末有高	

製造間接費

当月発生	予定配賦
	予算差異
	操業度差異

参考メモ【原価分析：固定予算】



参考×モ【原価計算表（総括表）】

	# 2 0 1	# 2 0 1 - 1	# 2 0 2	合 計
直 接 材 料 費	1,110,000 円	250,000 円	1,250,000 円	2,610,000 円
直 接 労 務 費	560,000 円	130,000 円	740,000 円	1,430,000 円
製 造 間 接 費	930,000 円	280,000 円	1,010,000 円	2,220,000 円
小 計	円	円	円	円
仕 損 費	円	円	円	円
合 計	円	円	円	円
備 考				